

超音波散策計画書

作成者 : 岩崎純一

■概要

日時 : 2015年9月22日

参加者: 東京コウモリ探検隊!等 隊長 宮本拓海氏

<http://tokyobat.jp/>

超音波知覚者コミュニティ東京 代表 岩崎純一

<http://iwasakijunichi.net/choonpa/>

場所 : 池袋地区、丸の内地区

■目的

ネット上を中心に真偽不明の超音波知覚情報が錯綜する中、これまで、宮本氏と岩崎との間で、超音波の物理学的定義、超音波騒音の実在性、超音波装置の設置場所の情報などについては、メールとマップを通じて共有できている。

一方で、宮本氏のバットディテクターの測定結果(超音波の波長・波形・音圧などの客観的な測定結果)と岩崎のいわゆる超音波知覚(主観的な不快感)との相関関係については把握できていないため、これを重点的に調べる。今回は、池袋地区や丸の内地区を例にとって調べる。

(超音波をバットディテクターが感知または岩崎が知覚できた場所の当該装置からの距離、超音波の直進性・指向性などの物理的性質とバットディテクターの反応や岩崎の不快感との関係など)

また、宮本氏も、岩崎が超音波知覚と呼ぶところの知覚様態を少なからず持っているが、このような「自覚」そのものが或る程度の高い知識や学究的な姿勢によらなければ生じることが難しいという可能性(超音波が聞こえていながら、それが超音波であることを知らないか認めたくない、または非物理学的現象・超常現象であると信じる人々が多くいる可能性)についても考えたい。

さらに、そのような現状を踏まえ、今後に向けて、超音波騒音公害について公にはたらきかける場合の的確な説明・啓発の仕方がどのようなものかを検討する。

■当日のルートと確認スポット

* 当日の岩崎の体調や気候により、当該スポットを通過できず近づくことしかできない場合、迂回する可能性あり。

13:30 池袋駅東口(北)に集合(いけふくろう像前の階段を上がったところ)

13:30～ 散策

- 東池袋一丁目の路上:特に、ユニクロ付近 WACCA の店舗内:特に、ユザワヤ
- 池袋駅 35 番口に入る
- ISP(池袋ショッピングパーク):特に、F&V 池袋、レンガ通り・北レンガ通り出入口
- チェリーロードの PARCO 入口、元禄うどん前
- 西武 B1F:特に、南クラブ・オンゲート、ルビアン付近
- 西武 8F へ上がる:ダイニングパーク池袋(スポーツ用品売場側入口から入る)

15:00 休憩・議論

- 丸ノ内線で大手町駅下車

16:00～ 散策

- A5 付近の連絡通路、大手町タワー
- 東西線地下道、D6、D3 番口、東京駅、5、3 番口
- 馬場先門から地上に出る
- ザ・ペニンシュラ東京まで地上
- A3、A6 番口と第二日比谷ビル前
- 日比谷シャンテ前を通り、帝国ホテルタワー側から JR 高架をくぐる
- Daiwa 銀座ビル、ヒューリック銀座七丁目ビル周辺を確認
- 銀座駅(丸ノ内線)

(その後、自由)